

令和5年5月2日

令和5年
第3回野洲市議会臨時会
決 議 書

野 洲 市 議 会

決議第2号

子どもの通院に係る福祉医療費助成制度の拡充を求める決議（案）

上記の議案を提出する。

令和5年5月2日

提出者 野洲市議会議員 奥山 文市郎

賛成者 野洲市議会議員 稲垣 誠亮

賛成者 野洲市議会議員 山崎 有子

賛成者 野洲市議会議員 服部 嘉雄

賛成者 野洲市議会議員 石川 恵美

決議第2号

子どもの通院に係る福祉医療費助成制度の拡充を求める決議（案）

国では、岸田首相が本年3月31日に次元の異なる少子化対策のたたき台を発表するとともに、子育てをしやすい環境づくりに取り組むため、本年4月から内閣府に「こども家庭庁」を創設されました。少子高齢化の進展により人口減少に歯止めがかからない昨今、少子化対策は待ったなしの最重要課題です。

また、新型コロナウイルス感染症の影響や昨今の急激な物価上昇は、若い世代の保護者にとって、子育てに関する大きな経済的負担となっています。なかでも、安心して医療が受けられる子育て支援は、保護者の皆さんの切実な願いであります。

令和3年4月の厚生労働省の調査によりますと、子どもの通院に係る医療費助成については、全国の市区町村の47.8%が中学3年生まで、46.9%が高校3年生までを対象としています。また、令和5年4月現在で、滋賀県19市町のうち本市を含む6市が小学6年生まで、6市4町が中学3年生までを対象としています。

野洲市の子どもの通院に係る福祉医療費助成制度は、令和3年4月から小学3年生までを対象としていましたが、昨年10月からは小学6年生までに拡充されました。そして、守山市長は、子どもの医療費の無償化の拡大を選挙公約のひとつに掲げ、その実現に向けた取り組みを進めようとしておられます。守山市とともに医師会を構成する本市では、子育てにおける負担と不安を軽減するためにも、子どもの福祉医療費助成の一層の充実が急がれるところです。

さらには、子育て世代の方々が本市に移住していただき、人口増加を図るためにも、こういった施策はスピード感をもって実施する必要があります。よって野洲市議会は、本市の子どもの通院に係る福祉医療費助成を早急に中学3年生まで拡充されるよう求めます。

以上、決議する。

令和5年5月2日

野 洲 市 議 会

令和5年5月2日

令和5年第3回野洲市議会

臨時会 決議書関係資料

野洲市議会

(提出理由)

国では、少子高齢化により人口減少に歯止めがかからない昨今、少子化対策は待ったなしの重要課題と位置づけ、次元の異なる少子化対策を加速化しようとしています。

また、新型コロナウイルス感染症の影響や昨今の急激な物価上昇は、若い世代の保護者にとって、子育てに関する大きな経済的負担となっています。なかでも、安心して医療が受けられる子育て支援は、保護者の皆さんの切実な願いです。

野洲市の子どもの通院に係る福祉医療費助成制度は、令和3年4月から小学3年生までを対象としていましたが、昨年10月からは小学6年生までに拡充されました。そして、守山市長は、本年10月1日から子どもの通院に係る福祉医療費助成を中学3年生までに拡充すると表明され、去る4月20日の守山市議会臨時会において、関係議案が可決されました。

守山市とともに医師会を構成する本市では、子育てにおける負担と不安を軽減するためにも、子どもの福祉医療費助成の一層の充実が急がれるところです。

さらに、本市の人口増加を図るためにも、こうした施策はスピード感をもって実施する必要があります。

以上のことから、本市の子どもの通院に係る福祉医療費助成を早急に中学3年生まで拡充することを求め、市議会の総意としての決議を提出するものです。